

10/12 女子10歳以下の部優勝  
北澤さん表敬訪問

10月23・24日に士別市で開催された、第11回北海道年齢別トランポリン競技選手権大会に参加した北澤星来さんが教育長を訪問し、大会への意気込みを語りました。

北澤さんは「大会に参加することが楽しみ。3位までに入賞し、全国大会を目指したい」と話しました。

大会結果は、見事個人競技女子10歳以下の部で優勝し、全国大会に進出することとなりました。



10/16 スポーツ感覚でまちをきれいに  
スポーツごみ拾い大会

上士幌町体育連盟主催のスポーツごみ拾い大会が開催され、11チーム38名が参加し、拾ったごみの量を競いました。

今回はふれあい公園をスタートし、中学校、シェアオフィス、家畜診療所の3つのチェックポイントのうち、1つを目指しながらゴミを拾いました。今大会は合計で約125kgのごみが集まりました。

大西会長は「楽しみながらゴミを拾い、ゴミの無い美しくきれいな町になってほしい」と話しました。



10/23 商店街が巨大すごろくに  
商店街タウンウォーキング

上士幌町商工会主催の「かみしほろ町商店街タウンウォーキングすごろくゲームズ!」が開催されました。

当日は32チームが参加し、山村開発センター前からスタート。まちを大きなすごろくに見立てて、お店や施設などの各チェックポイントで、上士幌にまつわるクイズや、ゲームなどさまざまなミッションに挑戦しながらゴールの道の駅を目指しました。参加者は「いろいろなお店などを回ることが出来て楽しかった」と感想を話しました。



11/4 福寿協会、こども園に  
商工会女性部寄付

商工会女性部が福寿協会に箱ティッシュ、こども園に箱ティッシュやバスタオル、消毒液、図書カードを寄付しました。

この取り組みは商工会女性部の子育て支援事業の一環として、長年行われており、福寿協会、こども園などで日常的に必要な物品などを毎年寄付しています。

こども園垂井園長は「ティッシュやバスタオル、消毒液は日常的に使うので、今回寄付いただき非常にありがたい」と話しました。



10月21日・22日  
上士幌小学校  
学年別発表会



11月5日  
上士幌中学校  
文化祭



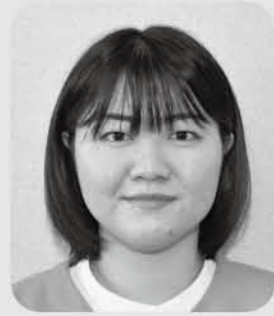
10月・11月の  
まちのわだい

<10月1日から10月31日まで、道の駅で上士幌町老人写真サークル柏の会創立40周年記念動物写真展が開催されました。



## 役場の新人紹介 よろしくお願ひします!

- ①氏名
- ②担当課(職名)
- ③出身地



- ①西村 桃花 (24歳)
- ②商工観光課(地域おこし協力隊)
- ③音更町

町民の方々と観光客の皆様にとって過ごしやすいまちづくりを目指していきたく思います。不慣れなことばかりですが一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



- ①岩部 栄美 (48歳)
- ②企画財政課(地域おこし協力隊)
- ③清水町

初めまして。地域おこし協力隊、生涯活躍のまち推進員の岩部と申します。町民の皆様とより良いまちづくりを目指して頑張ります!どうぞよろしくお願ひ致します。

## 地域を変えていく新しい力

# 地域おこし協力隊活動報告



記:DX推進員 梅田 紗希

TITLE:上士幌に来て5か月が経ちました

こんにちは!富士山のある静岡県から来た地域おこし協力隊の梅田です。最初に、最近の業務についてご紹介します。

まず、町の子どもたちへのドローン講座では、ドローンについての法律を勉強したり、実際の操作を通して理解を深めたりするサポートをしました。子どもたちは今まで触れたことのなかった、おもちゃのドローンを積極的に楽しんでいました。今回ドローンの操縦を体験して、将来ドローンで配送や撮影を試みたいなど、今後もドローンに触れてみたい子どもが多く、良い体験の機会になったようです。

次に、給食券のアプリへの移行では、高齢者の方へ使い方をご説明するサポートをしました。お会いして、日々の暮らしについてお話を伺うことが多く、町での経験が浅い私にとって勉強になっています。また、使用してみて困りごとがあればその後もフォローしていきますので、今後タブレットになじみ、新たな楽しみを見つける機会となったら嬉しいです。高齢者の方へのタブレット貸与の取り組みでは、タブレットに触れ、携帯電話からスマートフォンへ機種変更をした方もいらっしゃいました。どの年代の方でも楽しみや便利さを感じたら、新しいことでも取り入れていくことに私は日々刺激を受けています。

日常生活では、町に5月下旬に移住してきてから日々楽しく過ごしています。まずは、なんといっても食べ物が美味しいことです。北海道に来て、ホタテの厚さ!野菜の大きさ!何を食べても美味しいことに驚く日々です。自炊することもあるので助かっています。

また、外を歩けば、高い空と、広い大地を感じることです。最近では、遠くの山に積雪があるのを眺めながら冬の訪れを感じています。静岡は雪が降らない(降るのは富士山や山脈のみ)ので、雪に憧れがあります。人生で初めて、雪が降るところを見るのが楽しみです。本格的な冬に備えて、冬靴自転車のタイヤ交換をして冬支度をしています。

他にも気球に乗り、美しい景色の三国峠を撮影しました。初めて気球に乗ったのですが、知らないうちにスカイツリーよりも高い場所を飛行していたことに驚きました!今度は、空気が澄んだ日に乗って、冬の景色を眺めたいと思っています。



## 11/5 町内企業と高校生がコラボ 上高マッチング販売会

上士幌高校3年生の選択授業ライフデザインの一環として、町内の企業とコラボした上高マッチングの販売会が開催されました。

今年度は「LaTable de KAMISHIHORO」「UC STAND」「THE SANDO」「トカトカ」の4店舗とコラボし、かみしほろフレッシュミルクを使用した商品を開発しました。

当日は道の駅で生徒たちが販売し、約1時間で完売しました。



## 11/6 北海道初の取り組み 蜜源植物を植樹

北海道養蜂協会、十勝養蜂組合、北海道養蜂等振興推進協議会の3団体が主催で、北海道初となる蜜源植物の植樹を行いました。

近年、蜜蜂が蜜を採取する蜜源の確保が全国的に難しくなっています。今回の取り組みは蜜源確保のための全国的なモデルとなることが期待されます。

当日は道内の養蜂協会の会員や、町商工会、中高生など約60名が、全部で1110本植樹するうちの70本のシナノキを旧亀の子荘裏の山に植樹しました。



## 11/7 もしもの時に備えて 乳幼児救急救命講習

ママのホットステーションが主催する乳幼児救急救命講習が消防署で開催されました。

始めにスライドで乳幼児、幼児に多い誤飲などの事例を学び、その後、実際に心肺蘇生やAEDの使用方法などを実技を交え学びました。

参加者の方は「本やネットなどで見てはいたが、実際にやるとなると全然違う。自分の子どもは生後11か月で何でも口にしてしまう時期。今日学んだ誤飲の対処法などが役に立ちそう」と感想を話しました。



## 11/11 安心して子育てができるまちへ 子育てサポート講習会

生涯学習センターわかで子育てサポート講習会が実施されました。

現在子どもの一時的な預かりや送迎などにおいて、地域で相互援助活動を進めるため「上士幌町子育てサポート事業」を実施しています。今回の講習では、依頼側が今まで以上に安心して依頼ができるよう主に協力側が子育てなどの知識を学びました。

全3回の講習会で救急救命などについても学び、これまで以上に預けやすい環境を目指します。







## 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包括的、安全、強靱かつ持続可能にする

### 現状と達成すべき課題

世界人口の半数以上が都市部に暮らしており、今後も増加を続け、2030年には50億人が都市部に住むと予測されています。都市は、便利で住みやすい半面、交通渋滞や大気汚染、ごみの問題、インフラの老朽化、治安の悪化など、多くの課題が生じています。

そのため、本目標では、これらの課題を解消し、すべての人が安全で安価な家に住み、基本的なサービスが受けられるようにするとともに、環境悪化の軽減、自然災害による被害を抑制するなど、今後も住み続けられる都市の実現を目指しています。

### 私たちにできること

- ・どうしたらもっと住みやすいまちになるか話し合ってみる
- ・まちの魅力をSNSで発信する
- ・地域の清掃や防災活動に参加する
- ・町内会に加入する
- ・災害に備え、防災グッズを準備しておく
- ・使わない服や本、おもちゃなどは必要な人に寄付する
- ・税金を滞納しない 等



## つくる責任つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

### 現状と達成すべき課題

私たちの社会は、大量の資源やエネルギーを使って大量に物を生産し、大量に消費して、大量のごみを捨てています。このままでは、資源が枯渇し、環境の破壊・汚染も進み、さらなる気候変動への影響も心配されます。

そのため、本目標では、「より少ないもので、より多く、よりよく」の理念のもと、天然資源を適切に管理して効率的に利用することや、食品ロスの半減、リサイクルの推進など、地球の未来を考えた持続可能な消費と生産形態の確保を目指しています。

### 私たちにできること

- ・マイバッグ、マイボトル、マイ箸を持参する
- ・必要なものを必要な量だけ買う
- ・使い捨てのものより、長く使えるものを選ぶ
- ・シェアやレンタルなどで買わない工夫も
- ・食べ残しをしない
- ・壊れたものはすぐに捨てず、修理して使う
- ・詰め替えできる製品やリサイクル製品を選ぶ
- ・分別のルールを守り、資源ごみの収集に協力する
- ・「3R」や「エシカル消費」を意識する 等



## 気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

### 現状と達成すべき課題

気候変動は、世界中に深刻な影響を及ぼしています。気象パターンは変化し、異常気象は増加、海面上昇による沿岸部の浸水・浸食などが進み、温室効果ガスの排出量は史上最高水準に達しています。こうした悪影響を最も受けるのは、貧しい人たちや社会的に弱い立場の人たちです。人間の活動によってもたらされた温室効果ガスの排出は、ますます地球温暖化を進め、気候変動を助長します。

そのため、本目標では、日々の生活を守るため、私たち一人ひとりがCO2の排出削減に向けて行動し、温暖化の影響を軽減することを目指しています。

### 私たちにできること

- ・電気をこまめに消し、使用時間を減らす
- ・マイカーを控え、徒歩や自転車、公共交通機関を利用する
- ・冷房の温度は高めに、暖房は低めに設定する
- ・冷蔵庫の開閉回数を減らす
- ・電気自動車などエコカーを選ぶ
- ・地産地消により、輸送に伴うエネルギーを減らす
- ・家庭菜園や花壇を整備する 等

# みんなでSDGs 持続可能な開発目標

## 今日からできる！世界を変える一人ひとりの取り組み特集

上土幌町では、これまで行ってきた取り組みをさらに深化させることで、まちの価値を高めていこうと、SDGsの視点を取り入れたまちづくりを積極的に進めています。

SDGsの達成に向けては、国や自治体、企業、団体だけでなく、誰より私たち一人ひとりの取り組みが重要になります。そのため、町民の皆さまにSDGsを身近に感じていただけるよう、私たちが日常生活においてできる取り組みを紹介しています。できることからSDGsに取り組んでみませんか。



## 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

### 現状と達成すべき課題

道路、鉄道、水道、電気・ガス、インターネットなどのインフラは、日々の生活に欠かせないため、災害に強い基盤づくりが必要です。しかし、世界ではインフラが整っていない国や地域が多くあります。途上国にとって新産業の立ち上げにはインフラは欠かせませんが、資源の浪費や環境汚染を伴う産業の発展は、資源の枯渇や環境破壊などの問題が生じてしまいます。

そのため、本目標では、強靱なインフラ整備と併せて、環境に配慮した技術革新が図られた持続可能な産業化を目指しています。

### 私たちにできること

- ・世界や日本、身の回りのインフラ設備の状況を学ぶ
- ・今ある技術で暮らしに役立つものを調べる
- ・世界が便利になるための新しい技術を考える
- ・地元産業を応援するため、町内での買い物やサービスを活用する
- ・環境に配慮した製品を購入する
- ・パソコンやスマホ、インターネットなどが苦手な方を手助けする
- ・プログラミング教育を推進する
- ・被災地の製品を購入する 等



## 人や国の不平等をなくそう

国内及び国家間の格差を是正する

### 現状と達成すべき課題

ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けた努力を通じ、国家間における経済的格差は縮小しつつあり、世界の貧困率も減少傾向にあります。しかし、不平等の是正は進展しておらず、特に所得、保健、教育において大きな格差が残っています。また、年齢、性別、障がい、人種、民族、出自、宗教などにおいても不平等があり、日本でも他人事ではありません。

そのため、本目標では、不平等や差別をなくし、人権が尊重される社会の実現を目指しています。

### 私たちにできること

- ・さまざまな国の歴史や文化、人権、人種などについて学ぶ
- ・国際交流を通じ、異文化を理解する
- ・身の回りの不平等について考えてみる
- ・いじめや差別をしない、させない
- ・障がいのある方をサポートする
- ・パラスポーツに参加してみる
- ・子ども110番の家・お店に登録する 等

### Topics 3Rとエシカル消費

SDGsに取り組む上では「3R」と「エシカル消費」が重要とされています。3Rとはゴミそのものを減らす「リデュース」、何度も繰り返し使う「リユース」、資源として再利用する「リサイクル」の3つの言葉の頭文字をとったものです。エシカル消費とは人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費することを指します。消費のあり方を意識することはSDGs17のゴールすべての達成につながるため、ぜひ日ごろからSDGsを意識した行動をしてみましょう。



短歌

お詫びと訂正

広報11月号34ページ町民文芸、尾野よし乃様の短歌に誤りがありました。正しくは次のとおりです。訂正しお詫び申し上げます。

(正) 誤いのちかけ咲きたる夜のいとおしき朽ちゆく先にことば告げおり  
いのちかけ咲きたる花のいとおしき朽ちゆく先にことば告げおり

半裸の胸おさへあいつつ賑やかに少女ら集へり医務室のまえ  
四つ這ひに這ひきて下より吾を見上ぐそのふくよかな頬のいとしく  
線状雨悲鳴に聞こゆこの地球不燃ごみ出すことのためらう  
テレビに写る中山峠に雪積りのろのろと車が走る  
弟の車に乗りて糠平湖紅葉を見てひとめぐりする  
秋深きあさの道を歩きゆく落葉をふめばかそかな音して  
ナイタイのふもとに広がる畑や木々色さまさまに秋の風景  
休憩中窓の外に舞い降りる落ち葉を見たら冬が近い  
待ち時間長く感じる病院の気になる人混み避けながら待つ  
ハロウインの次は年末クリスマス一年はもう残りひと月  
澄みきった空収穫あとの畑から昇る朝日にカメラを向ける  
時雨ふるこの日は一人の部屋に居て心鎮めて思考めぐらす

石三中松米高高小鈴尾 本  
川角濱田森木橋松木野 間  
裕一夏理真誠博義 よし 栗  
子彦希恵弓也和実豊乃 風



10月23日の商店街  
タウンウォーキングの  
取材に行ってきました。  
今回は学童のチ  
ームに随行したのです  
が、子どもたちがとても元気で、途中走  
って次の目的地に向かうことも…。結  
構な距離を歩き疲れはしましたが、子  
どもたちと楽しく回ることができ、とて  
も思い出に残る取材になりました…Y

9月末で緊急事態宣言が終了してか  
ら、物凄い勢いで感染者数が減っていま  
す。一部報道にあるとおり、原因はよくわ  
からないようですが、何にせよ良いことで  
すね。おかげさまで先月以降、イベントが  
増えてきました。広報担当としては、街が  
賑やかになることは大変ありがたいと思  
っています。「来年1月からまた増える」  
みたいな話も聞きますが、ウィンターパ  
ーンとぶつからないか心配です。…T

がみしほろ 1月号は12月24日(金) 発行 予定

令和3年 10 月末現在の 人口

男性	2,429人 (-2人)
女性	2,525人 (+2人)
人口	4,954人 (±0人)
世帯数	2,607世帯 (-3世帯)

令和3年度 ふるさと納税寄付金

10 月分	7,887 件 115,173,000 円
累計	35,240 件 531,042,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をして  
いただき心より感謝を申し上げます。  
※11月15日現在

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人にならなう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましよう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましよう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましよう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましよう。

上士幌高校です!

文責: 教頭

No. 44  
令和3年  
11月25日

TITLE:今年も体験入学を実施しました

10月5日(火)、中学生対象に体験入学を実施しました。今年度は在校生の授業の様子も見せるということで平日開催としました。コロナの関係や平日ということで参加人数が心配されましたが、昨年度より7名少ない生徒47名、保護者19名の方が来校しました。

まずは授業見学した後、体育館にて本校の実情について担当者より説明を受け、その後、国語、数学、情報、音楽の4教科に分かれての模擬授業を体験。どの教科も興味深いものを準備したためか、中学生の反応も上々でした。その後、希望者による部活動体験となりました。終了後のアンケートによると、好印象を持ったという生徒が大半であり、今回の体験入学を機に沢山の生徒が本校を受験してくれることを願っております。



△情報の体験授業で広告を作成中



△国語の体験授業は辞書を使って



△音楽でリズムをとる練習をしています

上士幌高校新聞局通信



見学旅行に行くことが出来ました!

文責 平緒 滯

私たち2年生は10月22~25日が見学旅行でした。1日目は広島で千羽鶴を献呈し、2日目は法隆寺と東大寺を見学、そして3日目は待望のUSJ1日自由行動でした。私は絶叫系のアトラクションを楽しみ、スヌーピーのカフェで昼食を摂るなど満喫しましたが、

なんととっても一番は、大好きな「東京リベンジャーズ」のマイキーと三ツ谷のコスプレをした人たちと写真を撮ったことです。そのときのことを思い出すとまだに胸が高鳴ります。ほかにも色々なコスプレをした人たちがたくさんいて、アトラクションよりもそっちに目が行きました。あとはトイレに行き帰ってきたらメンバーが誰一人おらず、ただただ虚無が広がっていたあの光景です。あれは一生忘れないでしょう。



△東大寺のガイドさんはとても面白い方でした



△スヌーピーのカフェにて記念撮影



△でた!東京リベンジャーズ、かっこいい!

Kamisishihoro High School